

# 2017年度 事業報告書

一般社団法人 CSV開発機構

2017年4月1日～2018年3月31日



---

## CONTENTS

設立の趣旨と目的／役員	01
会員／事業内容	02
年間活動計画	03
2017年度 主要活動状況	05
1年間の活動記録	
[1] 全体セッション	07
[2] 合同セッション	09
[3] 各種プロジェクト	10
[4] 広報・啓発活動	14

---

## ■ 一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的とし、その普及と推進に資するものです。

## ■ 役員（2018年3月31日現在）

理事長	赤池 学	
副理事長	水上 武彦	
専務理事	小寺 徹	
理事	大北 博一	（キリン株式会社）
	藤中 隆一	（株式会社乃村工藝社）
	反町 雅史	（大和リース株式会社）
	長谷部 直人	（東京書籍株式会社）
	八田 泰秀	（日本ユニシス株式会社）
	平川 健司	（株式会社電通）
	原 以起	（ヤマハ発動機株式会社）
	池田 伸之	（株式会社ジェイティービー）
事務局長	永山 均	（株式会社a2media）
監事	佐野 惣吉	（住友林業株式会社）
顧問	渋澤 寿一	

## ■ 会員（2018年3月31日現在）

### （一般会員）

日本ユニシス株式会社	株式会社乃村工藝社	株式会社a2media
ヤマハ発動機株式会社	川崎重工業株式会社	株式会社富山
日揮株式会社	大和リース株式会社	株式会社ジェイティービー
株式会社電通	キリン株式会社	東京書籍株式会社
住友林業株式会社	株式会社J&J事業創造	大日本印刷株式会社
ゴドモエナジー株式会社	株式会社伊藤園	株式会社ジェイアール東日本企画
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社		株式会社日本能率協会総合研究所
株式会社JTBCコミュニケーションデザイン		すてきナイスグループ株式会社
株式会社サーベイリサーチセンター		フリー株式会社
株式会社ヒューマンルネッサンス研究所		

### （特別会員）

青森県庁	弘前市	千葉商科大学
名古屋市（東京事務所）		公益財団法人科学技術広報財団
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会		特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会
大東文化大学経営研究所		大阪府（公民戦略連携デスク）
静岡市		浜松市

## ■ 事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

## 年間活動計画

2017年度の当機構の活動は、機構の目的であるCSVビジネスの創造を現実のものとするために、〔1〕全体セッション、〔2〕分科会活動、〔3〕その他活動の3分野で展開します。

### [ 1. 全体セッション ]

全体を2部構成とし、第1部では、現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘。その最新動向を共有し、会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探ることを目的として年4回程度の開催を計画します。

また第2部では、第1部のテーマに制限されず、会員企業のCSVに関する取組みやシーズ、課題などについての発表、分科会の進捗報告などのディスカッションの時間として設定します。

#### ○具体的なテーマ設定およびゲストスピーカー候補（案）

「おもてなし認証制度」サービス業の生産性向上にむけた取組みについて	品質の見える化が難しく、生産性の向上が課題となっているサービス業について、導入が予定されている規格認証制度の考え方や仕組みについて最新情報を共有する。	経済産業省
中小企業ものづくり基盤整備事業について	「地方創生」を現実的なものとするために必要となる地域の中小企業の復興に向け中小企業庁が展開する基盤整備事業についての最新情報を共有する。	経済産業省 中小企業庁
オリパラに向けた科学技術イノベーションの社会実装計画について	2020年の東京大会の運営に向けて、社会実装が計画されている様々な科学技術イノベーションについて、最新動向を共有する。	内閣府大臣官房 当該タスクフォース担当審議官
国土強靱化で動き出した最新プロジェクトの紹介	昨年から動き出している国土強靱化・地方の強靱化に向けて、地方自治体・民間企業が連携して動き出した様々なプロジェクトの最新動向を共有する。	レジリエンスジャパン 推進協議会
交流文化とインバウンド観光戦略の現在	クールジャパン、ビジットジャパンを中心にインバウンド促進事業が展開されている中、2020年に向けた官民連携の観光戦略について最新情報を共有する。	国土交通省 観光庁 日本政府観光局（JNTO）
一億総活躍社会の実現に向けて	一億総活躍社会の実現に向けて、計画されている政策や具体化していく施策について、最新動向を共有する。	内閣府大臣官房 当該タスクフォース担当審議官

## 年間活動計画

### [2. 分科会・ビジネス創造]

CSVビジネス創出のトリガーを掴むことが出来た案件を中心に、希望者を募り、分科会を立ち上げる。

事務局および会員企業各々の活動の中で、CSV開発機構として会員企業を巻き込んだ動きが有効となる場合、関係者協議の上、適宜分科会・ワークショップを立ち上げ、ビジネスの具体化を進めます。

#### ○2017年度期首の具体的な分科会テーマ

りんご産業イノベーションプロジェクト	弘前市の基幹産業であるりんごを産業として見つめなおし、生産・加工・流通・消費のすべての分野でイノベーションを起こす。	主幹：事務局
弘前 CSV モデル事業プロジェクト	CSV大学 in 弘前の第1期の集大成として、弘前の若手経営者とともに、CSV視点で地域産業を活性化する新しいビジネスモデルを具体化する。	主幹：事務局
教育ICT(ESD)プロジェクト	会員企業・東京書籍が展開する総合教育サイト「Edutown」をプラットフォームとして、キャリア教育・地域資源発掘などに、自治体と企業のCSV連携を狙う。	主幹：東京書籍
和食文化プロジェクト	世界遺産に認定された日本食のルーツは古来から受け継がれた伝統や文化、日本人として守らなければならないしきたりを後世に受けついでいく。	主幹：事務局および日本ユニシス
CSVファンドプロジェクト	CSV大学の発展形として、地域活性化に資する事業を対象としたファンドの組成、運用を検討し、CSVファンドとして導入を具体化する。	主幹：事務局およびFVC
海の森プロジェクト	東京湾のゴミの埋め立て地（夢の島）を活用した海上公園の新しい形での運営方法について、CSV開発機構および会員企業群として提案・実現していく。	主幹：事務局および乃村工芸社
東松島まちづくりプロジェクト	地震・津波により壊滅的な被害を受けた東松島市のまちづくりを行政と企業との連携で行い、包括的な地域ビジョンに基づきトータルプロデュースを行う。	主幹：事務局および住友林業
川内村プロジェクト	原発事故による全村避難からの復興を目指す福島県川内村に工場を設立した会員企業コードモエナジーを中核に復興のシンボルとなるようなCSV連携を具体化する	主幹：事務局およびコードモエナジー

### [3. その他の活動]

機構の安定的な運営に寄与するため、機構の認知度向上、社会的地位の向上を目指した活動を事務局主導で展開します。

- 広報・啓発関連
- 事業開発関連－シーズ先導型
- 事業開発関連－省庁・自治体連携型

## ■ CSV開発機構 2017年度 主要活動状況

### 2017年

04月	<b>[講演]</b>	創発倶楽部（小寺専務理事）（14日）
	<b>[講演]</b>	JTB国内旅行企画（赤池理事長）（21日）
	<b>[機構運営]</b>	理事会（24日）
	<b>[メディア]</b>	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編⑦掲載（26日）
05月	<b>[機構運営]</b>	定時社員総会及び理事会（30日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区観光推進委員会（小寺専務理事）（15日）
	<b>[セッション]</b>	第1回 全体セッション「農業改革－日本の農業の新しい形」（30日）
06月	<b>[講演]</b>	OBC・おもてなし規格認証について（小寺専務理事）（7日）
	<b>[CSV大学]</b>	弘前「白神めぐみ寿司」一周年記念優待キャンペーン（12日～）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区防災委員会（池袋ブランディング）（14日）
	<b>[CSV大学]</b>	千葉商科大学「ソーシャル」取材対応（小寺専務理事）（26日）
	<b>[メディア]</b>	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編⑧掲載（28日）
07月	<b>[CSV大学]</b>	千葉商科大学「弘前ウエディング」事業者説明会（13日～15日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区観光推進委員会（小寺専務理事）（20日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区防災委員会（池袋ブランディング）（26日）
08月	<b>[セッション]</b>	「CSVグローバルセッション」（3日）
	<b>[CSV大学]</b>	千葉商科大学「弘前ウエディング」ロケハン（弘前）（8日-10日）
	<b>[官民連携]</b>	地産地消優良活動審査委員研修会（小寺専務理事）（24日）
	<b>[機構運営]</b>	理事会（30日）
09月	<b>[CSV大学]</b>	弘前 千葉商科大学学生によるフィールドインターンシップ（4日～7日）
	<b>[官民連携]</b>	日本の食消費拡大国民運動推進委託事業を受託（JC総研）（7日）
	<b>[官民連携]</b>	青森「おもてなし規格認証×IoT」実証実験・事業者説明会（8日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区観光推進委員会（小寺専務理事）（14日）
	<b>[講演]</b>	ツーリズムEXPO CSV×千葉商科大×弘前市（小寺専務理事）（22日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区防災委員会（池袋ブランディング）（28日）
	<b>[メディア]</b>	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編⑨掲載（28日）
	<b>[官民連携]</b>	豊島区観光推進委員会（小寺専務理事）（29日）
	<b>[セッション]</b>	第2回 全体セッション「地方創生とインバウンド対策」（29日）
10月	<b>[官民連携]</b>	地産地消優良活動表彰・審査会（赤池理事長）（11日）
	<b>[官民連携]</b>	地産地消優良メニュー表彰・審査会（赤池理事長）（17日）

## CSV開発機構 2017年度 主要活動状況

11月	[官民連携]	地産地消優良活動表彰式（4日）	
	[機構運営]	理事会（6日）	
	[メディア]	「ジャパンハーベスト」地産地消優良活動展示（5日）	
	[講演]	新価値創造展（赤池理事長）（15日）	
12月	[メディア]	「まちてん2017」サポーター団体としてブース出展（8日・9日）	
	[官民連携]	地産地消セミナー 札幌市（19日）	
<b>2018年</b>			
01月	[官民連携]	地産地消セミナー 山形県山形市（18日）	
	[メディア]	日本ユニシスと共同で「Smart Join Style」Webサイト開設（15日）	
02月	[官民連携]	地産地消セミナー 長野県佐久市（25日）	
	[官民連携]	豊島区観光振興プラン策定委員会（小寺専務理事）（6日）	
	[機構運営]	理事会（9日）	
	[官民連携]	地産地消セミナー 愛媛県今治市（9日）	
	[官民連携]	地産地消セミナー 福岡県糸島市（16日）	
	[セッション]	第3回 全体セッション「働き方改革とCSVビジネス」（23日）	
	[官民連携]	地産地消セミナー 滋賀県守山市（26日）	
	[官民連携]	農林水産省 食糧・農業関連企業動向分析調査ヒアリング対応（27日）	
	03月	[官民連携]	東京都 海上公園運営事業・サウンディング対応（2日）
		[講演]	西武信金 おもてなし規格認証説明会（小寺専務理事）（7日）
[CSV大学]		千葉商科大学「弘前ウェディング」事業報告会（13日）	
[セッション]		第4回 全体セッション「コミュニティビジネスとCSV」（多摩信金共催）（17日）	
[講演]		相模原市まちづくり勉強会（小寺専務理事）（30日）	

## 1年間の活動記録

### 〔1〕全体セッション

#### 第1回 「農業改革とCSVビジネス」

2016年5月30日／16:00-18:00 /ノムラスタジオ（乃村工藝社B1F）

##### 講演1

「企業との連携による農業の革新について」

富士 重夫 様（一般社団法人JC総研 代表理事 理事長）



##### 講演2

「農業×観光・消費者との新たなコミュニケーションの創出」

大塚 雅樹 様  
（株式会社JTBコミュニケーションデザイン 常務取締役）



#### 第2回 「地方創生・地域活性・インバウンド対策」

2017年9月29日／15:00-18:00 /ノムラスタジオ（乃村工藝社B1F）

##### 講演1

「地方創生・地域活性とインバウンド対策」

伊地知 英己 様（観光庁 国際観光課長）



##### 講演2

「新しいインバウンドビジネスの成功の鍵」－旅マエ・旅ナカ・旅アトをつかめ！  
八田 泰秀 様

（日本ユニシス株式会社 インキュベーション部門執行役員）



## 1年間の活動記録

### 〔1〕全体セッション

#### 第3回 「働き方改革と地方創生」

2018年2月23日／15:00-18:00 /ノムラスタジオ (乃村工藝社B1F)

##### 講演1

「働き方改革と地方創生」－プロフェッショナル人材事業の狙いと課題

佐合 達矢 様  
(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 内閣参事官)



##### 講演2

「越境を後押しする」－二枚目の名刺の活動について

廣 優樹 様 (NPO法人二枚目の名刺 代表)



##### 講演3

地方自治体の取組紹介

小山 敏史 様 (北海道厚真町まちづくり推進課総合戦略グループ)  
山岸 義明 様



##### 講演4

働き方改革とCSVビジネスの創出に向けて  
－Smart Join Styleのご紹介

西村 忠士 様 (日本ユニシス株式会社 公共第一事業部 グループマネージャー)

#### 第4回 「コミュニティビジネスシンポジウム in 多摩」 (多摩CBネットワーク共催)

2018年3月17日／12:00-18:00 /東京外国語大学府中キャンパス アゴラ・グローバル

##### 講演1

木全 ミツ様 (NPO法人JKSK代表)

##### 講演2

企業による社会課題の解決  
赤池 学 (当機構・理事長)

- 多摩のコミュニティビジネスの実例紹介
- コミュニティビジネス成功の秘訣・広がりの可能性



## 1年間の活動記録

### 〔2〕 合同セッション

#### 「CSVグローバルセッション」 (CSV開発機構 クレアン 共同企画)

2017年8月3日 / 15:00-18:00 / ノムラスタジオ (乃村工芸社 B1)

#### 講演1

「Shared Value Leadership Summit 2017参加報告・  
CSVの最新トレンド」

水上 武彦  
(一般社団法人CSV開発機構 副理事長)



#### ゲストプレゼンテーション ①

「SDG s の枠組みでUNDPの活動と企業連携に期待すること」

青柳 仁士様  
(国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所  
副代表補・上席渉外広報官)



#### ゲストプレゼンテーション ②

「CSV進化のためのSDG s の活用」

笹谷 秀光 様  
(株式会社伊藤園 常務執行役員CSR推進部長)



#### パネルディスカッション

「グローバルに展開するSDG s とCSVの実践」

(登壇者) 福田 加奈子様 (住友化学株式会社 CSR推進部長)  
藤崎 壮吾 様 (富士通株式会社 環境・CSR本部 CSR・SD戦略統括部長)  
青柳 仁士 様 (国連開発計画 駐日代表事務所 副代表補・上席渉外広報官)

(進行) 水上 武彦 (当機構副理事長・株式会社クレアン チーフCSVオフィサー)



## 1年間の活動記録

### (3) 各種プロジェクト

#### ① おもてなし規格認証制度

経済産業省が、サービス業の生産性向上を目的として2017年度からスタートした「おもてなし規格認証」制度において、「認証機関」としての認定を受け、認証審査活動を開始しました。



#### ② 千葉商科大学・人間社会学部「ソーシャル」Vol.2 制作プロジェクト

千葉商科大学・人間社会学部の1年生が、アクティブ・ラーニングとして、企業のCSVビジネスの実践現場を自ら取材し、冊子化することで、ソーシャル・ビジネスとは何か、その事業例を学ぶプロジェクトを昨年度に引き続き機構としてバックアップしました。

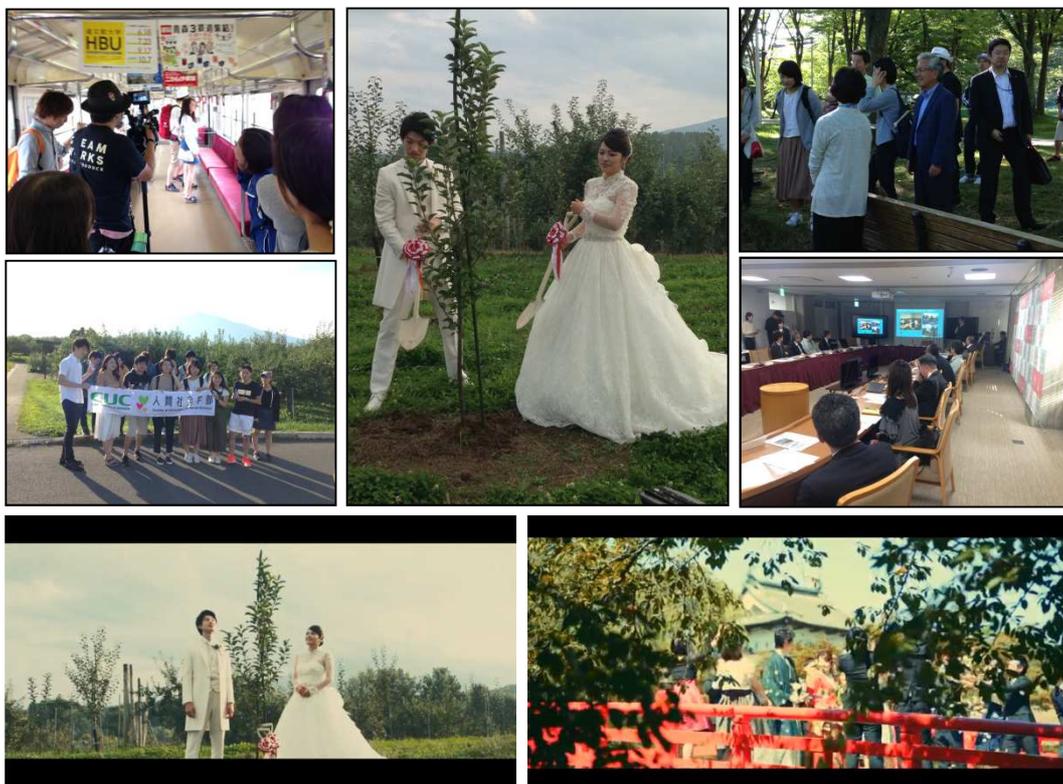


## 1年間の活動記録

### 〔3〕 各種プロジェクト

#### ③ CSV大学 in 弘前

フィールドインターンシップを通じて策定した事業計画を元に、地元公益団体の実施するアイデア募集事業に応募。昨年度助成事業として採択された「愛・ひろさきウェディング」の予算を活用し、地元の皆さんのご協力を仰ぎながらプロモーションビデオの撮影を行いました。



制作されたプロモーションビデオや、その撮影の様子は、地元メディアでも数多く取り上げられ、12月に展開された「まちてん」にもブース出展して、PR活動を展開しました。

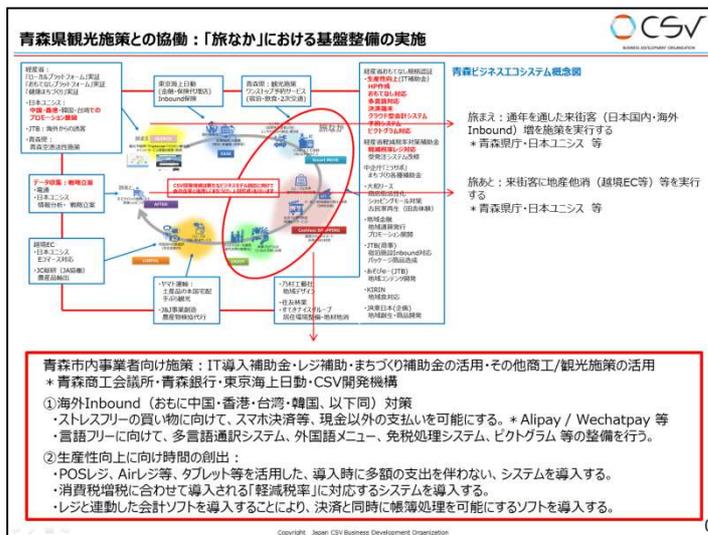
## 1年間の活動記録

### (3) 各種プロジェクト

#### ④ 青森県観光協会との連携による電子決済インフラ導入実証実験

青森県観光協会と会員企業の日本ユニシスと共同で、主に中国からの訪日客に対する電子決済システム導入による需要活性化を促進する実証実験を行いました。

この実験では、協力店舗に電子決済端末を設置し、来日観光客の観光消費額のUPを目指したものです。



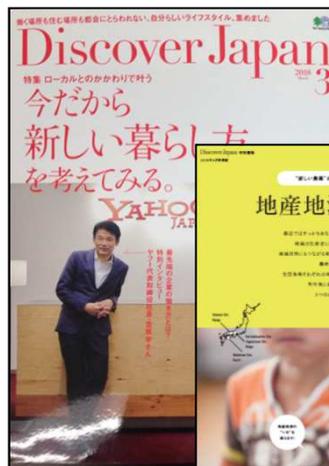
## 1年間の活動記録

### (3) 各種プロジェクト

#### ⑤ 「地産地消等優良活動表彰」「地産地消給食等メニューコンテスト」事業の運営（農水省）

一般社団法人JC総研様との連携より、本年度の「地産地消優良活動等表彰・普及啓発活動」の運営を行いました。

この事業では、全国の地産地消のメニューを公募・表彰、全国各地でセミナーを実施するとともに、当機構のネットワークを活かした啓発活動として、「Discover Japan」誌とのタイアップ企画による「地産地消、最前線！」や「るるぶキッチン」とのタイアップ企画（実店舗でのメニュー展開+パンフレット）を展開いたしました。



## 1年間の活動記録

### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ① まちてん2017 出展

2017年12月8日、9日の二日間、渋谷ヒカリエを会場として開催された「まちてん 2017」に、サポーター団体として出展いたしました。主に、CSV大学のスキームとおもてなし規格認証制度に連動した地域活性化の展開についてご来場者への啓発を行いました。



〔会期〕 2016年12月8日（金）・9日（土）

〔場所〕 東京・渋谷ヒカリエ 9F

〔出展者数〕 102社・団体

〔来場者数〕 2,103人

千葉商科大学・弘前ウエディング研究会も当機構のとなりブース出展し、「愛・ひろさきウエディング」事業のプロモーション展開をおこないました。



## 1年間の活動記録

### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ② 働き方改革 × CSV 「Smart Join Style」 （日本ユニシスとの共同企画）

「働き方改革」をテーマとしたCSVビジネスの創出を目指し、日本ユニシスを主幹となり、興味関心のある会員企業が集っての分科会がスタートしました。

また、この分科会スタート後、二地域居住、デュアルワークなどの実践者のインタビューを掲載する特設サイト「Smart Join Style」（運営：日本ユニシス / 協力：当機構）がオープンしました。



#### ③ 日経BP社 新・公民連携最前線 PPPまちづくり

##### 連載コラム：「地域を元気にするCSV」

2015年度・2016年度に引き続き、日経BP社のウェブマガジン「新・公民連携最前線 PPPまちづくり」において、「地域を元気にするCSV」というタイトルでコラムを連載させていただいております。

##### <第7回> 2017年4月 J&J事業創造

###### ■「JAPAN FRUIT」によるインバウンド支援事業

##### <第8回> 2017年6月

###### ■スマートウェルネス体験パビリオン ナイスグループ

##### <第9回> 2017年9月 多摩信用金庫

###### ■創業支援センターTAMA



## 1年間の活動記録

### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ④ 主なセミナー・講演 等

創発倶楽部（小寺専務理事）

JTB国内旅行企画（赤池理事長）

OBC おもてなし規格認証制度について（小寺専務理事）

ツーリズム EXPO CSV × 千葉商科大学 × 弘前市（小寺専務理事）

新価値創造展（赤池理事長）

西武信金 おもてなし規格認証制度について（小寺専務理事）

相模原市 まちづくり勉強会（小寺専務理事）

